

論文審査の結果の要旨

氏名：丹 羽 悠 介

専攻分野の名称：博士（医学）

論文題名：慢性特発性蕁麻疹におけるオマリズマブの治療効果予測となるバイオマーカーの検討

審査委員：（主 査） 教授 権 寧 博

（副 査） 教授 中 村 英 樹 教授 大 島 猛 史

教授 山 上 聡

本研究は、オマリズマブ投与下における血清 free IgE の測定し、慢性蕁麻疹の治療効果予測の因子として利用可能かを検討している。結果として、従来法に比べて4倍感度が高い新規測定法を新たに確立し、より高感度で低いレベルの free IgE を測定可能とした。本測定法を用いて検討した結果、オマリズマブ投与前の total IgE 値を測定し、カットオフ 327.6ng/ml で、71.3%でレスポンドとなり、オマリズマブ投与開始 12 週間後の free IgE 値が、32.26ng/ml より高い値であれば 100%の頻度で投与開始約 28~32 週間後の評価で responder になることが示された。また、オマリズマブ投与開始前の血清の IgG 型抗 IgE 自己抗体濃度を測定したところ、1823 ng/ml より低値であった場合、88.24%の頻度でオマリズマブ投与開始 0~4 週間後の評価では responder であった。さらに、投与前 total IgE 値および抗 IgE 自己抗体濃度、投与開始 12 週間後の free IgE 値の慢性蕁麻疹におけるオマリズマブ治療の効果予測のバイオマーカーになりうることを本研究で明らかにされている。以上により、オマリズマブ治療を開始する前にこれらを測定することで、治療の有効性の有無をあらかじめ予測することが可能となり、治療の最適化や医療経済的な負担軽減につながることを期待される。

以上より、この研究は新規性および将来性があるものと考えられる。

よって本論文は、博士（医学）の学位を授与されるに値するものと認める。

以 上

令和 5 年 2 月 22 日